

企画セッション

◆ 新しい知財実務家育成の在り方 ◆

【概要】

本企画セッションは、昨年企画・実施されたセッション「新しい知財実務家育成の在り方」において、検討した、現代的な知財実務家育成の手法、価値、位置付けを、本年の学術研究発表会の主題を受け、再度、検討するものである。

昨年は、従来の所属組織におけるOJTという育成方法の問題点を浮き彫りにし、知財実務育成においては、インプットだけでは実務に通用せず、ケーススタディなどを通じて、実際に、実務で活用できるスキル・ノウハウを身につける方法が体系的に確立されていることや、目指すべきスキルセットが明確にされていることの重要性が議論された。

本年度の学術研究発表会においては、人工知能（AI）や大規模データが創出する新たな領域が、人とAIの共創に関する新たな視点を提供し、知的財産のパラダイムを一新しかねないという昨今の状況を踏まえ、「知的創造と知的財産」という主題が定められた。

実際、知財業界において、ここで指摘されるような新しい（例えば生成AIを利用した）ツールが、この数年、多く生み出されている。この状況は、昨年議論された手法や、スキルセットを大きく変えるものと考えている。また、昨年の議論は、知財実務育成の場面における、いわゆる「守・破・離」の「守」の段階について行ったが、この状況は、「守」の段階を不要、もしくは大幅に短縮する可能性を秘めている。例えば、こういったツールが明細書の要約や発明の重要ポイントを抽出してくれるのであれば、弁理士が行う明細書作成スキルにおいて、その大半が不要になるのではないかという意味である。

したがって、当該主題との関係を、今年度、喫緊の課題として、議論すべきであると考えている次第である。なお、このようなテーマのセッションは、人工知能（AI）等によって仕事が奪われるのかといった、議論に陥りやすい。しかし、本セッションは、この進化の波頭を捉え、どう実務家が成長していくか（具体的にはスキルセットを構築していくのか）を、生産的に議論する場としたいと考えており、これが、当該主題を踏まえた議論の形であると理解して、企画したものである。

本セッションでは、昨年に引き続き、実務家育成に関わる谷様、上池様、野崎様より、この主題との関係値で、現在のお考えをお聞かせ頂く。加えて、特許事務所において、弁理士として知財実務に携わる傍ら、サマリアという特許文書の読解支援AIアシスタントの開発・提供を行なっている大瀬様を新たにお迎えして、本主題との関係で、より具体的な議論を行なっていく予定である。

企画セッション

◆ 新しい知財実務家育成の在り方 ◆

【講演者】

モデレーター :

小川徹 (本大会実行委員、株式会社 JMDC リスクマネジメント室法務知財グループ、知財学会ブランド経営分科会 代表幹事)

パネリスト (50 音順) :

大瀬佳之 (パテント・インテグレーション株式会社 代表取締役 CEO、I P T e c h 弁理士法人)

生成 AI を利用した孤独な知財担当者に寄り添う AI アシスタントサービス「サマリア」を今年の 4 月から提供。特許検索・特許分析サービスの「パテント・インテグレーション」、商標情報サービス「ブランドテラス」などを運営。IoT・サービス関連の特許実務を専門とする弁理士。企業向けオンライン学習講座の UdeMy において、受講者数 1,382 人以上の『初心者でもわかる特許の書き方講座』などを運営。

上池睦 (株式会社知財塾 代表取締役社長、Smart-IP 株式会社 取締役兼 CMO)

東京理科大学専門職大学院イノベーション研究科知的財産戦略専攻を修了後、2015 年サイボウズ株式会社に入社。知財業務をメインとして体制整備などを行い、2022 年からは開発部門に移り、エンジニアと近い距離で特許業務に従事。また、2021 年 1 月に知財実務教育事業を行う知財塾を設立し、代表取締役社長に就任。2022 年 7 月に知財業務の DX 化を推進する Smart-IP 株式会社取締役に就任。

谷和紘 (弁理士会育成塾講師・実務修習講師、プロフィック特許事務所)

大阪大学工学部精密工学科卒業し、大阪大学大学院精密科学専攻修士課程修了。

シャープ株式会社特許部門及び複数の特許事務所にて機械分野及び電気分野の権利化業務に従事。2010 年より弁理士会実務修習の明細書の在り方演習機械コースの講師、2022 年より弁理士会育成塾の機械コースの講師を務める。また、関西特許研究会クレームドラフティング研究班を立ち上げ、班長を務める。2023 年プロフィック特許事務所を開所。株式会社知財塾相談役就任

野崎篤志 (株式会社イーパテント 代表取締役社長/知財情報コンサルタント®、KIT 虎ノ門大学院客員教授、大阪工業大学知財専門職大学院客員教授)

慶応義塾大学院総合デザイン工学専攻修了後、日本技術貿易株式会社入社。外資系特許調査・分析企業ランドン IP 日本オフィス立ち上げを経て、2017 年 5 月に知財情報コンサルティングの株式会社イーパテントを設立し、代表取締役社長に就任。KIT 虎ノ門大学院および大阪工業大学知財専門職大学院客員教授。著書に『調べるチカラ』(日本経済新聞出版社)、『特許情報分析とパテントマップ作成入門 第 3 版』(発明推進協会)などがある。平成 30 年度特許情報普及活動功労者表彰・特許庁長官賞【活用普及功労者】受賞。